

資料9 揚湯量の減少について

村が毎月実施している源泉揚湯量の測定において、5月29日に揚湯量の減少及び孔内管内の水位上昇が確認されました。

このため、以降は数日ごとに計測を実施し、状況を監視するとともに、さく井工事業者に聞き取りを行った結果、揚湯量減少の要因として次のような可能性が考えられます。

なお、村として原因調査や対策工事等を実施しませんので、現在の状況を踏まえ、事業提案を行っていただきますようお願いします。

1 揚湯量の状況

参考	ℓ/min	水位：m
R8.2月	109	262.1
R8.3月	110	264.0
R8.4月	106	263.0
R8.5月	64.7	164.2
R8.5.31	66.1	163.6
R8.6.2	64.9	163.6
R8.6.5	66.4	164.5

2 さく井工事業者の見解

①揚湯ポンプ自体の能力低下

②揚湯ポンプに接続されている揚湯管の破損による揚湯量の低下

③経年劣化による孔内管、ストレーナ等の各部の破損による揚湯量の低下